



平成 28 年 10 月 27 日

各 位

上場会社名 株式会社スクロール  
代表者 取締役会長 堀田 守  
(コード番号 8005)  
問合せ先責任者 経営統括部 経営企画課長 鈴木康晴  
(TEL 053-464-1114)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 4 月 28 日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●連結業績予想の修正について

平成 29 年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年4月 1 日～平成 29 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 65,000	百万円 2,250	百万円 2,300	百万円 1,800	円 銭 53.62
今回修正予想(B)	59,000	950	1,000	600	17.64
増減額(B-A)	△6,000	△1,300	△1,300	△1,200	
増減率(%)	△9.2	△57.8	△56.5	△66.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年3月期)	63,159	1,936	2,108	2,383	71.16

(注) 当期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っております。前期実績につきましては、当該表示方法の変更を遡及適用した組替え後の数値を記載しております。

#### 修正の理由

平成 29 年3月期通期連結業績予想につきましては、中期経営計画の成長戦略である通販H&B事業などにおいて増収を見込んだ一方、通販アパレル事業においては前期対比で減収の見込みでありました。

当第2四半期(累計)連結業績では、通販アパレル事業において、お客様ニーズの分析結果に即した商品を投入し売上の確保に努めてまいりましたが、天候不順の影響や消費者の節約志向による買い控えを受け、春・夏商材の販売が不振となり当初収益計画を下回る結果となりました。また、通販H&B事業においても、お客様ニーズの多様化が進んだ影響もあり当初収益計画を下回る結果となりました。

第3四半期以降も通販アパレル事業においては、消費者の節約志向による買い控えの長期化が見込まれることで、他の事業セグメントにおいては収益計画との大きな乖離はないものの、当初予想の売上高の確保は難しいと判断し、業績予想を修正いたします。

また利益面におきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益が減少となるとともにカタログ費などの販管費率が上昇することが予測され、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益においても前回発表予想を下回る見通しとなりましたので、それぞれ修正いたします。

なお、現下の厳しい経営環境ではありますが、期初に公表いたしましたとおり1株当たり年間配当金 10 円(第2四半期末5円、期末5円)に変更はありません。

※ 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上